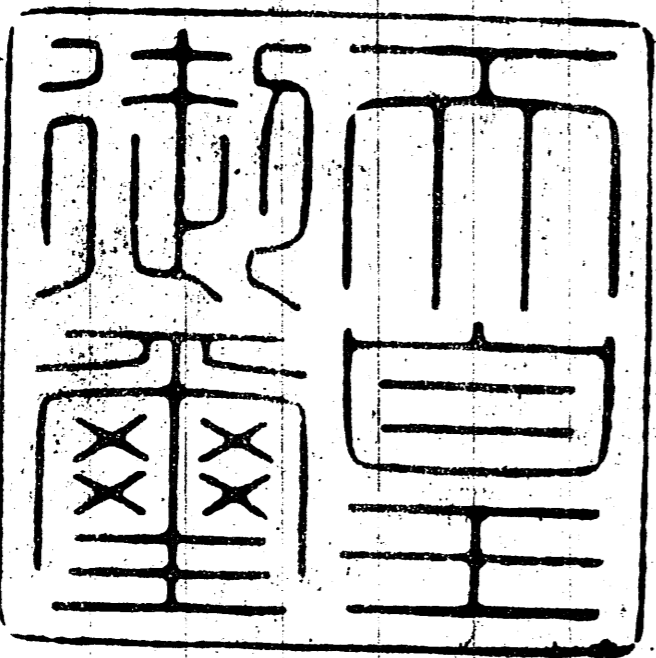


勅令第五百六十六號

朕陸軍士官學校令中改正ノ件ヲ裁可
シ茲ニ之ヲ公布セシム

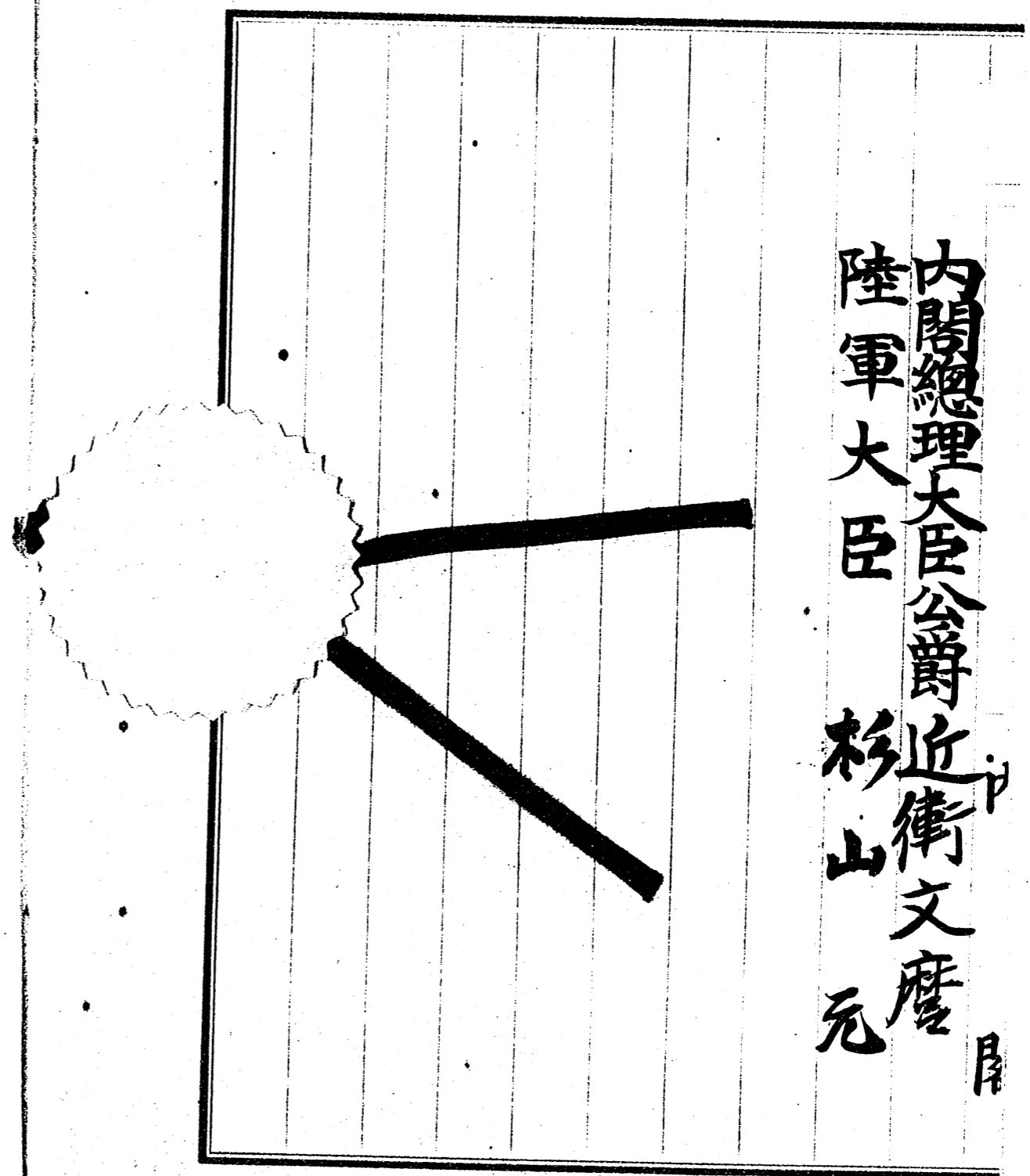
裕仁



昭和十二年九月三十日

月

内閣總理大臣公爵近衛文麿
陸軍大臣 杉山元



勅令第五百三十八號

陸軍士官學校令中左ノ通改正ス

第一條中「生徒」ヲ「生徒及航空兵科將校ト爲スベキ學生」ニ改
メ同條ニ左ノ二項ヲ加フ

航空兵科將校ト爲スベキ生徒及學生ノ教育ヲ行フ爲陸軍士官學
校ニ分校ヲ置ク

第二條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ航空兵科將校ト爲スベキ生徒ニ在リテハ所定ノ隊附勤務ニ
代ヘ其ノ期間ヲ修學期間ニ合シ陸軍士官學校分校ニ於テ修學セ
シムルモノトス

第二條ノ二 學生ハ航空兵科少尉候補者ヲ以テ之ニ充テ陸軍士官

學校分校ニ於テ航空兵科將校ニ必要ナル教育ヲ受ケシム通常毎年一回入校セシノ其ノ修學期間ハ概ネ一年トス

第三條、第四條、第二十五條、第二十六條及第三十二條中「生徒」ヲ「生徒及學生」ニ改ム

第五條乃至第七條中「生徒」ノ下ニ「（航空兵科將校ト爲スベキ生徒ヲ除ク）」ヲ加フ

第二十二條ノ二 第十三條乃至前條ノ規定ハ陸軍士官學校分校ニ之ヲ適用セズ

第二十二條ノ三 航空兵科將校ト爲スベキ生徒及學生ノ學科教育及之ニ關聯スル訓育ニ任ゼシムル爲陸軍士官學校分校ニ教育部ヲ置ク

第二十二條ノ四 航空兵科將校ト爲スベキ生徒及學生ノ訓育及術科教育ヲ行フ爲陸軍士官學校分校ニ教育隊ヲ置ク

第二十二條ノ五 兵器ノ修理及研究竝ニ航空兵科將校ト爲スベキ生徒及學生ノ實習ニ供スル爲陸軍士官學校分校ニ材料廠ヲ置ク

第二十二條ノ六 陸軍士官學校分校ニ左ノ職員ヲ置ク

分校長

幹事

副官

分校附

教官

教育隊長

教育隊副官

教育隊中隊長

教育隊附

材料廠長

材料廠附

准士官、下士官及判任文官

第二十二條ノ七 分校長ハ校長ニ隸シ分校ノ業務ヲ總理ス但シ航

空兵科専門ノ教育ニ關シテハ校長ヲ經テ陸軍航空本部長ヨリ所

要ノ指示ヲ承クルモノトス

第二十二條ノ八 分校ノ幹事ハ分校長ヲ輔佐シ分校ノ業務ヲ整理

シ教育ノ統一ヲ圖ル

第二十二條ノ九 分校ノ副官ハ分校長ノ命ヲ承ケ分校ノ庶務ヲ掌
ル

第二十二條ノ十 分校附ハ分校長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ
掌ル

第二十二條ノ十一 分校ノ教官ハ分校長ノ命ヲ承ケ學科教育及之
ニ關聯スル訓育ヲ分擔ス

第二十二條ノ十二 教育隊長ハ教育隊ヲ統ヘ分校長ノ命ヲ承ケ訓
育及術科教育ヲ掌理ス

第二十二條ノ十三 教育隊副官ハ教育隊長ノ命ヲ承ケ教育隊ノ庶
務ヲ掌ル

第二十二條ノ十四 教育隊中隊長ハ教育隊長ノ命ヲ承ケ訓育及術

科教育ヲ擔任ス

第二十二條ノ十五 教育隊附ハ上官ノ命ヲ承ケ各擔任ノ業務ヲ掌ル

第二十二條ノ十六 材料廠長ハ分校長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第二十二條ノ十七 材料廠附ハ材料廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ分擔ス

第二十二條ノ十八 分校ノ准士官、下士官及判任文官ハ上官ノ命ヲ承ケ術科教育ヲ補助シ又ハ技術若ハ事務ニ從事ス

第二十三條 生徒ハ校内ニ、學生ハ校外ニ居住セシム但シ教育上必要アルトキハ學生ヲ校内ニ起居セシムルコトヲ得
生徒及學生ノ修學ニ要スル兵器、被服、圖書、器具、消耗品等ハ之ヲ貸付シ又ハ支給スルコトヲ得

第二十四條中「生徒」ヲ「生徒及學生」ニ改メ同條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ第二條但書ノ場合ニ於テハ生徒ハ總テ校長ノ管理ニ屬スルモノトス

第二十七條第一項中「生徒中」ヲ「生徒及學生中」ニ改メ「次期ノ生徒」ノ下ニ「若ハ學生」ヲ加フ

第二十九條中「生徒」ヲ「生徒及學生」ニ改メ同條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ第二條但書ノ場合ニ於テハ著隊時日ヲ指定シ所屬部隊ニ之ヲ入隊セシム

第三十條中「休暇ヲ」ノ下ニ「、學生ニ二十日以内ノ休暇ヲ」ヲ

加フ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

内

閣